



もういくつかねると・・・ お正月について

今年も残すところ数えるほどとなりました。お正月は日本においてもっとも古い行事とされており、年神様(としがみさま)を家族みなでお迎えする行事です。年神様は健康をもたらし、子孫繁栄や五穀豊穡を授けてくれる神様だと言われています。昔は年の初めに年神様をお迎えしておもてなしをし、家の幸福と繁栄をお願いしていたんですね。現在では、家族親戚が集まり、一年の健康を祈る行事となっているようです。ご家庭でも、ご家族皆の健康を祈願し、よいお年をお迎えください。

できるようになったよ!

今学期より、タブレットの持ち帰りも試行的に実施し、学校としても積極的に教育のICT化をすすめています。最近、低学年においても授業で活用しており、児童も楽しく学習しています。「習うよりは慣れる」とはよくいったもので、教師が思っていた以上のスピードで、子どもたちは習得しています。(写真は1年生の学習の様子です)



かけ算検定

2年生は算数の学習で九九をすらすら言えるように、かけ算検定を行っています。合格した人は校長室で合格証を受け取ります。みんな毎日、九九を暗唱しています。2年生、がんばれ!



児童の活躍 ー与那原っ子 夢実現!ー

第2回与那原町教育長杯サンライズカップ (11/27)
3位 男子バスケットボール部

实用英語技能検定(11/18)
2級合格 仲吉兼蔵 (5年)

第45回全国ジュニアオリンピックカップ
春季水泳競技大会(水球競技)(11/20)
優秀選手賞 高倉凜樹(6年)

第50回小中学生珠算競技大会(12/5)
4年生の部 4位 北原杏
3位 比嘉南紀

第41回沖縄県なぎなた大会(12/11)
個人試合 5・6年生の部 優勝
演技競技 5・6年生の部 2位
大木ひかり(6年)

小学生ハイビスカス駅伝大会(12/18)
中学年の部 区間賞 大木絆裡(3年)

6年生の新垣夏鈴さんが、2月に行われる全沖縄ジュニアバレーフェスタに、島尻選抜のメンバーに選出されました。がんばってください!



報告に訪れた崎原監督と夏鈴さん

6年生の謝敷かおさんと我那覇まつりさんがSDGsについて知ってもらおうと、独自に取り組んでいます。



国語の時間に世界の環境について調べる機会がありました。その中で、SDGsについて調べてみると、世界中の46%の人しか知らないことがわかりました。そこで、より多くの人にSDGsを知ってもらおうとポスターを作りました。今後は、自分たちにできることを探していきたいそうです。

学習の内容を自分たちで広げ、取り組んでいる姿が素晴らしいですね。



SDGsの17の目標

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう → イジメ・チャンクデー
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリシップで目標を達成しよう。



SDGsとは・・・

人類は、貧困、紛争、気候変動、感染症など、これまでになかったような数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」です。現在、日本中の学校でも積極的に取り組んでいます。

校長より

運動会や学習発表会などいろいろな行事があった二学期前半が終わろうとしています。今年度もコロナ禍での開催で、保護者の皆様には何かと制限をお願いした中での実施でした。ご協力ありがとうございました。

子どもたちは、学校行事を通して協力することや目標を持ってがんばることを学んだと思います。毎日一緒に過ごしている保護者の皆様には、日々のお子様の小さな成長を感じ取りにくいかもしれませんが、間違いなく子どもたちは成長しています。日々、できることが多くなっています。年末にあたり、この一年を家族で振り返り、できるようになったことを確認して下さい。その成長のひとつひとつを認め、子どものやる気につなげ、新しい年に向け目標を立ててほしいと思います。

学校行事の持ち方については、アンケート、学校評価にからいろいろなご意見をいただきました。多様な考え方があることは承知しております。学校としては、最善が何なのかを検討し、今後につなげていきたいと思っております。引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

